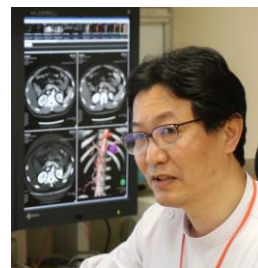


2020年12月～全身用コンピュータ断層撮影装置

Revolution CT を導入しました。

デュアルエネルギー (GSI) ボリューム CT スキャナシステム



放射線科部長 高井 勝文



この装置は、県下でも数少ない装置で、異なる2種類の X 線を用いて撮影することで、従来の装置より鮮明でかつ様々な画像を得ることが可能です。

AI 搭載モデルは、大学病院等研究機関以外の臨床病院に導入されるのは当院が初になります。

これにより、超高速・超高画質撮影が可能となり、患者さんへの負担も大きく軽減されます。

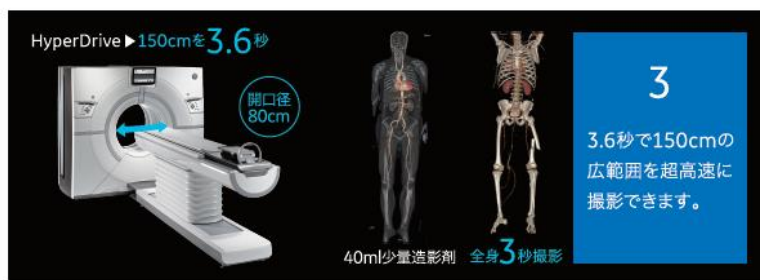
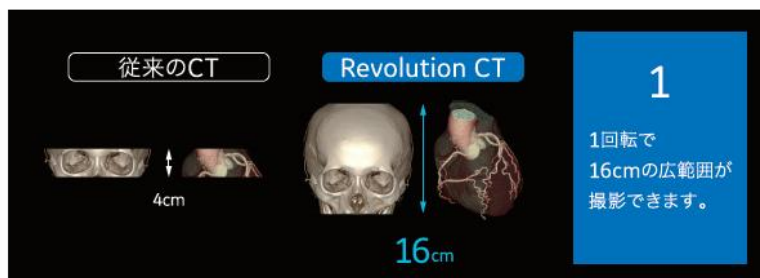
地域医療機関の先生方へ画像診断の必要な方がみえましたら、ご依頼いただければ幸いです。

特徴

- ①各エネルギーの画像を作成する仮想単色 X 線 (Virtual Monochromatic Image:VMI:Mono 画像)
- ②ヨードや水、脂肪などの各種密度値を画像化した物質弁別画像 (Material Decomposition:MD 画像)
- ③実効原子番号解析

DualEnergyCT の用途

- Mono 画像やヨード密度画像を利用した**造影効果の向上**。
- 腎機能低下の場合には**造影剤量を大幅に低減**しても良好な**造影効果**が得られます。
- 従来の CT では不明瞭だった病変が**水密度画像**で描出可能。MRI 禁忌の場合でも**圧迫骨折**の**新旧が判別**できます。
- 実効原子番号解析を利用した**結石の種類弁別**
- 肺血栓塞栓症では**肺血流の診断**に有用です。
- **金属アーチファクト**が**低減**され、**コイル塞栓術後**や**骨折術後のインプラント周辺**が**描出**可能です。



西尾市民病院 地域医療連携室

TEL : 56-3362 FAX : 56-3354 E-mail : byosin@hospital.city.nishio.aichi.jp